

令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年2月 日

学校法人 宝国学園 真教寺宝国幼稚園

1, 本園の教育目標

一人ひとりの「今」がかがやく保育

- ・みほとけさまを拝む子ども
- ・お話を聞ける子ども
- ・ありがとうと言える子ども
- ・仲良くできる子ども

2, 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもの「心もち」(根底にあるその子の思いや気持ち)を理解しようとし大切にする
- ・子どもの興味関心に沿った環境設定
- ・異年齢保育の充実

3, 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の計画性	B	園の教育理念、方針を理解し各学年、年齢に応じた保育を計画している。園の環境構成は活動がより豊かになるように職員間で話し合っている。
2	保育の在り方・幼児への対応	B	一人一人の個性、特徴を受け入れ援助方法を考えている。クラスに関係なく全職員で子どものことについて考えられるよう情報共有の時間の確保、定期的に連携会議を開いている。
3	保育者としての能力や良識・適正	B	保育者としての自覚を持ち行動している。私的なことは園には持ち込まず、社会人としてのマナーを守っている。職員間も協力できるように報告・連絡・相談を心掛けている。
4	保護者への対応	B	保護者との日常会話の中や、定期的なおたより・ドキュメンテーションの発行、クラス毎の茶話会を通して保育の内容や子どもの姿を伝えている。保護者から意見を頂いた時は全職員共通理解の上で対応している。
5	地域の自然や社会との関わり	C	地域交流に努め、他施設との交流や園の行事を通して地域と交流している。小学校とも連絡を取り、スムーズな連携を心掛けている。オープンスクールに足を運ぶなどして卒園児の様子も情報を得られるように努めている。
6	研修と研究	C	園内・園外共に研修の機会を持ち、毎日の保育に繋がっている。研修したことは全職員で共有し、みんなで学びを深めていくようにしている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4, 総合的な評価結果

評価	理由
B	6つの評価項目について取り組んだ結果、今年度の重点目標のもと保育を考えて実践することが出来たと思う。またさらに保育の質の向上を図るために全職員で課題を共有し取り組んでいきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5, 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育環境	子ども一人一人の立場になって考えたり感じたりし、より良い環境を整えていく。その為に毎日のこどもの様子を情報交換・共有し子ども理解に努め保育者も感性豊かに関わっていく。また園内外の研修で得たことを実践していくことによって環境を整えていく。
2	計画の振り返り	幼稚園教育要領をよく理解し、幼児の実態に対応した計画を作成し年度途中にも見直し改善していく。改善の際には各保育者の意見や見方を十分に伝え合い計画に反映させていく必要がある。
3	組織作り	保育者が1つのチームである事を意識し、他の意見を聞いたり、自分の意見を積極的に述べるような関係、雰囲気作りをしていく
4	保護者対応	保護者対応の研修をしっかりと行い、日々の細かい話にも全職員で速やかに共有していく。外部講師や心理カウンセラーとも連携を図り、細やかな関わりを目指していく。

6, 学校関係者評価委員会の評価

<p>総合的に見て 子供たちのための運営が下されていると思いはり。 保護者の協力などは 満足では有りませんが、子供のために という思いは園と同じであると思ふ。</p> <p style="text-align: right;">母の会 会長</p>